

# 市議会だより おおまち

194号

令和6年5月1日発行

3月定例会号



議会だよりライブラリーで  
過去の議会だよりも見ることができます

特集 | 3月定例会 令和6年度予算可決 …… 2～3ページ  
行政視察報告・議員研修会報告 …… 14～15ページ  
みんなのひろば …… 16ページ



表紙写真 |  
ピカピカの1年生

未来に向かって走る

撮影者：市民の方

●表紙の写真を募集します！

# 令和6年度 大町市予算を可決

後期基本計画の中間年を迎えることから、事業の進捗度や達成度を考慮し、私たちのお金がどう使われているのか、喫緊の課題への対応や新たな取組について、予算の中で議論しました。

## 教育に専門の力を！

ICT活用推進事業 2711万円

学校からの要望やネット環境やアプリ使用における対応には専門性が高い知識と操作技能が必要であり、運営支援業務の民間事業者委託を行う

### 【委員会での審査内容】

- Q 注1 GIGAスクール運営支援事業委託の事業内容は
- A 注2 ICTに関する不具合対応に時間を要していたが業者委託により迅速な対応が可能だ



操作研修を受ける教職員

注1 GIGAスクール構想………全国の児童・生徒1人に1台のコンピューターと高速ネットワークを整備する文部科学省の取り組み。

注2 ICT………通信技術を活用したコミュニケーション。

## 好評！有機たい肥利用

生ごみ等資源化推進事業 1884万円

管理運営する事業者は令和5年度で10年目を迎え、地域住民や農家との交流から、たい肥利用の有機栽培など好評を得ている

### 【委員会での審査内容】

- Q 将来的な見通しは
- A 令和6年度から5年間、指定管理期間を延長した。施設の老朽化も見据えて今後、検討する

## 認知症カフェに参加しよう

認知症総合支援事業 479万円

認知症の方とその家族、地域住民が気軽に集える場所を提供し、相談支援、関係機関との連携、その他認知症に関する普及啓発

### 【委員会での審査内容】

- Q 認知症カフェの取り組み状況は
- A 現在5団体が活動しているが、さらに新しい団体が増えるよう支援に努める

## 水道事業のサービス向上に向けて

上下水道事業窓口業務等委託 3622万円

水道事業の窓口業務を外部委託へ。プロポーザルによって業者決定

### 【委員会での審査内容】

- Q 窓口業務委託による費用対効果は
- A プロポーザルによって業者が決まるが、委託額は見積額より低く抑えられ、今までの費用額と同様かつ、費用の一部経費が消費税仕入税額控除の対象となることからさらなる効果が見込めるものと考え

## ～大町市の将来像

「未来を育む・ひとが輝く信濃おおまち」実現に向けて～

一般会計 185億3800万円 企業会計 127億5206万円 特別会計

## 人口問題の課題を知る！

人口分析業務委託事業 399万円

人口分析業務を依頼。調査報告を基にモデル地区を選定し、地区別の定住戦略の策定や、地域経済循環の強化につながる起業支援プログラムの策定などを検討する予定

### 【委員会での審査内容】

- Q 調査結果の説明の予定は
- A 研修会等を行い報告する予定。さらに、モデル地区選定後に定住戦略を練り、講演会等を経て市民へ周知を図ると共に方向性を共有して定住戦略を図る



## 大町ブランド海外で大好評

農業マーケティング事業 620万円

海外販路を拡大するためのPR費用

### 【委員会での審査内容】

- Q 目標値を設定して成果へ繋げていくのか
- A 米、酒、それ以外の品目と分けて取り組む。米は順調に輸出量が伸びてきており、令和5年産米で123t輸出しており、3年で300tがひとつの目安となっている。また、米と合わせ、酒の地理的表示(GI)の情報発信も進める



香港のおにぎり専門店の様子

## 除雪対策、救済策を

雪害対策事業費 1億4273万円

除排雪業務市道468km分及び公共施設の除雪、除雪委託機械管理料183台分、警報時の待機保障や注意報時の積雪確認費用など。また8t級除雪ドーザーを1台購入

### 【委員会での審査内容】

- Q 除雪事業者への負担軽減策や担い手不足解消に向けた状況は
- A 市では除雪車を購入し業者へ貸与することやメンテナンスの管理費用や待機時の補償、路面の積雪確認時の手当の支給等で負担軽減を図っている。今年度は、重機にGPSを搭載し除雪路線の軌道データ収集を行い、データ分析により除雪路線の効率化に取り組む。また、自治会や若い方の協力を得ながら研修体制を整え、担い手育成に努める





結婚の希望が叶う  
安心な出会い  
政友クラブ 山本みゆき

### 結婚を支援する 取り組みは

答 インターネット上で  
お見合い活動ができる

Q 少子化対策として結婚支援の  
取り組みは。

A 市農業委員会が実施する「花  
嫁花婿銀行」は毎月第2土曜日の相  
談日に専門の相談員が対応している。  
また、定住促進協議会が運営する  
結婚相談所「大町市ハピネスサポー  
トセンター」の取組みでは「ながの  
結婚マッチングシステム」があり、  
インターネット上でお見合い活動が  
できる。

Q インターネットでの出会いが  
不安な方も行政が登録業務を行ない、  
実際に面会して戸籍謄本や写真付き



結婚したいと思ったら、大町市ハピネス  
サポートセンターに相談を

の身分証明書で確認をとっているこ  
ころが安心できるが、「ながの結婚  
マッチングシステム」の利用費用と  
市からの補助は。  
A 「ながの結婚マッチングシス  
テム」は大町市ハピネスサポー  
トセンターに登録制となっており、シ  
ステム登録料は2年間で一万円と  
なっているが、市は五千円を補助し、  
さらにシステム登録に必要なプロ  
フィール写真のフォトスタジオでの  
撮影には五千円の補助がある。また、  
県では独身者向けの婚活イベントや  
セミナーに参加いただくことにより、  
マッチングシステム登録料を四千円  
割り引くクーポンサービスがある。  
県との連携を図り、周知に努めて、  
インターネットでのアクセスを改善  
し、多くの皆様の利用に繋げていく。



単なる言葉だけの政策で  
は大町の未来は無い  
無所属クラブ 高橋 正

### 「きらり輝く大町」 具体的意味は

答 様々な分野で人が活躍し、  
市の発展を支える町である

Q 「未来を育むひとが輝く信濃  
おおまち」とは、どの様なものか。

A 人が輝き、街や自然、産業や  
文化全てが将来にわたり輝きつづけ  
る町である。第5次総合計画では、  
人に焦点を当てて計画を策定した。  
人材こそ重要な存在として基本計画  
の中心に位置づけた。国際芸術祭も  
人が輝く機会であると考えている。  
Q 「持続可能な地域社会」をど  
うやって実現させるのか。

A 芸術祭や関電トンネルバス開  
通60周年、黒部・宇奈月キャニオン  
ルートなど、観光・誘客、また水を



シャッター街となった市街地に  
輝きはあるか？

起点とした、市のブランド化、水源  
ツアーなど、交流人口の創出を図っ  
ていく。  
Q 「次世代に引き継ぐ新たな大  
町市」とはどういうものか。  
A 次代を担う子供たちが、力強  
く生き抜く力を身に付けるため、G  
IGAスクールや、コミュニティ  
スクールなど教育環境を整備する。  
【ハラスメント対策について】  
Q ハラスメント対策では何が最  
も重要と考えるか。  
A 職員一人一人がハラスメント  
への理解を深める。全職員が被害者  
の心に寄り添う対応を行う意識を改  
めて認識する。市長自身が先頭に立  
ち、ハラスメント行為を決して許さ  
ない。安全で快適な職場づくりに全  
力で取り組んでいく。



現状を変えてみませんか？  
何か仕掛けて  
市民クラブ 中牧 盛登

### 本気度を問う。 大学のあるまち

答 本気で準備を進める。  
のんびりしてられない

Q 少子高齢化、人口減少、若者  
の県外流出は、当市の大きな課題で  
ある。こうした状況を変えるには、  
大学設置や誘致を本気で考えなけれ  
ばならないと思うが、市は、大学の  
あるまちづくりについてどのような  
考えているか。

A 新年度、第2期大町市まち  
ひと・しごと創生総合戦略の改定を  
予定している。この戦略策定の中で、  
本気度を示すためにも、大学のある  
まちづくりの位置付けを明確にした  
いと考えている。

Q 大学の設置や誘致の準備はど



未来を創る子どもたち

のように進めるのか。  
A 情報収集をして、大学設置や  
誘致の決定に至るまでは、企画財政  
課の仕事と考えている。  
Q 人材育成や人材確保を目的と  
した、大学のあるまちづくりにつ  
いて、教育長としての考えは。  
A 自分たちが住んでいる町に、  
大学等があることで小中学校での学  
校生活も、目標を持って意欲的に取  
り組むのではないかと考えられる。  
Q 市長は、大学等の立地可能性  
について準備が整えば、議会と市行  
政が本気で議論する考えはあるか。  
A 本気でやるためにも、準備が  
整えば、議会との勉強会や色々な意  
見交換の機会を考える。



今の子どもたちを  
犠牲にしないで！  
峻嶺会 傳刀 健

### 教育環境維持費 削減しすぎでは

答 現場の声に感じながら、  
補正対応していく

Q 新年度予算、小学校施設運営  
費が令和4年度比30%、中学校でも  
56%にまで削減されている。学校再  
編等に多大な費用が必要なも承知  
するが、今、通っている子どもたち  
が犠牲となっていないか。

A 再編まで残り2年ではあるが、  
現在の学び舎において継続して教育  
環境を維持することが必要である。  
学校現場と調整しながら、補正対応  
を含め、適切な予算執行に努める。  
Q 再編後の校舎跡地利用、市民  
の声を拾う場を設けては。  
A ワークショップ形式含め市民

と意見交換できる場を検討していく。  
【ハラスメント指針で誰を守る】  
Q ハラスメント対策指針は誰を  
守るために制定するつもりか。  
A 未然に防ぎ、被害があれば被  
害者を守る対応をとる。動きやすい  
職場環境を維持する目的である。  
Q ハラスメント苦情処理委員会  
は市職員だけで構成するとある。客  
観的な判断は無理ではないのか。  
A 重大事案等の場合、「専門識  
者をアドバイザーとして出席させる  
こととする」と追加する。  
Q 被害者救済について、人事院  
厚生労働省の示す「セクハラ対策指  
針」に従っていないが、なぜ。  
A 3月末までに見直す。



騒音が響くトイレ換気扇。  
授業に集中できる環境整備は急務



能登地震、死亡原因  
1位は建物倒壊での圧死

日本共産党大町市議員  
宮田 一男

### 住宅耐震化が、緊急課題

答 建築士有資格職員の増員で、耐震改修の周知推進中

- Q 能登半島地震における死因は、建物倒壊での圧死が多数。大町市の耐震化率は、どうなっているか。
- A 耐震性を有している住宅は、全体の80%と推計している。
- Q 耐震化の進まない原因は、
- A コスト面や将来住宅を引き継ぐ後継者がいない等。
- Q 耐震化未実施空き家対策は、
- A 固定資産税納税通知書に啓発チラシを同封するなど、周知する。
- Q 専門職の体制強化を。
- A 令和2年4月より4名体制



住宅の耐震化推進を！

「自衛隊への名簿提供について」

- Q 住民名簿の提供形態は、
- A 対象年齢の18歳、22歳を抽出し、閲覧許可を与えている。
- Q 個人情報提供を望まない方の為に、除外申請制度の創設を。
- A 他市の動向を見て検討する。

「太陽光発電について」

- Q 条例制定で、太陽光発電施設の何割が規制対象となるか。
- A 事業用施設は対象となる。
- Q 地域住民の範囲は、
- A 事業地に隣接せずとも生活環境に影響を受ける住民は対象となる。
- Q 協定を締結する自治会とは、
- A 大きな括りの自治会を原則とするが、特定の集落との締結もある。

で、耐震化未実施住宅への訪問実施。



道の駅建設に向けて動き出せ

ほり けんいち  
堀 堅一

### 防災・道の駅を 目指すべきだ

答 災害時の活動拠点としての機能の整備が必要と考える

- Q 道の駅の場所選定はどのように進めるのか。
- A 市民をはじめ、商業、農業、観光など関係する皆さんが参画する検討委員会を早期に立ち上げる。
- Q 大規模災害を教訓として、防災拠点としての道の駅を目指せ。
- A 物産館、トイレや休憩のサービス施設だが、防災拠点として救助、救援や復旧活動の拠点、救援物資の保管などの機能を持たせる。
- Q 道の駅の防災の中心は何か。



犬の為だけでなく、地域を守る為の注射。罰金は20万円

「愛犬の管理について」

- Q 未登録犬や狂犬病予防注射の未接種犬への強い対応を求める。
- A 大町市の登録済みの頭数は1240頭、接種済み頭数は1105頭だ。違反の場合の罰金は20万円となる。狂犬病予防法の目的や義務の普及啓発に努める。

- A 自家発電や蓄電池などの電源設備。衛星通信環境の整備。貯水槽や井戸。食糧、医薬品などの災害対策用物資の備蓄機能。災害時の活動拠点としての会議室、休憩室。災害用ヘリポートの整備も必要だ。
- Q 道の駅をランドマークとして、市の明るい未来をどのように作るのか。
- A 産業振興の拠点機能、農産物の加工販売を行う6次産業の拠点。広域的な観光拠点。市の玄関口として交流の拠点としたい。

### 用語解説

※1 マンホールトイレ……災害時に下水道管路にあるマンホールの上に簡易なトイレ設備を設け、使用するもの



芸術祭、開幕まであと半年準備は万全か

政友クラブ  
大竹真千子

### 市民の方々の参画をどう促すか

答 様々な形で関わっていただけのように体制整備に努める

- Q 市民が参加・参画しやすい仕組みづくりはできているか。
- A 作品制作やアートサイトの運営にサポーターとして参加いただくなど、直接芸術祭の運営に関わるほか、来場者としての参加、飲食や宿泊等業務・ビジネスの機会として活用いただく、芸術祭の情報の発信、道案内などおもてなし側として協力いただく等、様々な参加の形がある。それぞれの立場や方法、協力いただける範囲で、ひとりでも多くの方に参加いただけるよう呼び掛けていく。
- Q 地域消費額向上への仕掛けは、



3月14日には東京・代官山で芸術祭PRイベントが開催された

- A 宿泊を伴う県外からの来訪者を増やすこと、飲食や土産に対する満足度を高めることが重要。例えば昼食から夕食の間などの、時間帯を広げた食事の提供態勢や、短時間の休憩や軽食が取れる場の開設なども効果的と考える。また、アートエリア各所で土産を購入可能な体制の整備、商品に関するストーリーの可視化やオリジナリティのアピールなども消費喚起に繋がるものと考ええる。
- Q 作品周辺でのキッチンカーや休憩所、物販の設置はできないか。
- A 気軽に休憩や食事がとれる憩いの場は来訪者の受け皿として必要な場の提供に繋がり食事のできる場の拡充としても有効。市内飲食店に出張カフェも依頼したい。設置場所等実行委員会と連携して検討したい。



災害時に市民の安全を確保できるのか

日本共産党大町市議員  
栗林 陽一

### プライバシーの保護は可能か

答 パーティションやプライベートルームを備蓄している

- Q 仮設トイレの確保は十分か。
- A 応急的なマンホールトイレと簡易的な段ボールトイレを備蓄している。仮設トイレは災害支援協定を結んでいる公共団体や企業から必要に応じて支援を受ける。
- Q 高齢者等支援を必要とする市民への福祉避難所体制は十分か。
- A 一般の避難所では生活することが困難な、特別な配慮が必要とする方々の二次的な避難所として福祉避難所を定めている。市が指定する福祉避難所は、市施設の総合福祉センター等4施設、民間施設を4施設、



家庭での非常用持出袋・備蓄は家族の3日～1週間分が必要



峻嶺会 一本木秀章

### 健康で自立的な生活を送るには

答 フレイルに気づき、対応することで生活機能を向上

Q フレイル予防は市民に浸透しているのか。

A 高齢者の自立支援、介護予防、重度化防止を図る総合的な取組みとして、身体機能の維持改善の為に自治会単位で実施する複合体操教室や貯筋塾、軽運動を中心とした一般介護予防体操などを各地域で実施していると共に、認知機能や社会性の低下防止を図る為に社会参加を進める「通いの場」が市内各地に設置され活発な活動が行われており、フレイル予防の重要性について、相当程度浸透してきている。

Q フレイル予防を認識させ、活動に参加して頂く施策はあるのか。

A フレイル予防に熱心な方がいる一方で、関心を持たずに社会との交流を持たない方がいる。このため高齢者の社会参加の場の充実や参加促進を担う、「生活支援コーディネーター」が通いの場を一覧にした、「生活支援サービスマニュアル」を活用し、参加を希望する方と通いの場のマッチングを進めている。



年をとっても自分らしく生きるためにフレイル予防をしよう

#### 用語解説

※2 フレイル予防……高齢者が健康で自立的な生活を送るために、身体的な虚弱や機能の低下を予防し、適切なサポートを提供することを目指すアプローチ



植松 悠一郎

### 大町市の人口の現状は？

答 昨年10月1日時点で人口ビジョンより303人少ない

Q 市町村の人口ランキングでは2014年の814位から2023年には832位に転落。同じ人口規模の自治体より人口減少が進んでいる証。人口対策の効果は他の自治体より出ていないともれるがどう考えるか。

A 施策の効果を検証し、必要に応じて、見直しや拡充を検討する必要がある。

Q 全国では200の自治体が増加を達成。特に千葉県流山市では5年連続増加率トップとのこと。この自治体も特有の課題を抱えているのか。

	2008年	2023年	差
大町市	31,340人	24,926人	-6,414
流山市	155,876人	211,160人	+55,284

流山市では20年前から対策に取り組み、大きな成果を上げてきた



政友クラブ 西澤 和保

### 不審者対策や訓練等の実施は

答 想定や対策をもとに、関係機関と連携した訓練を検討

Q 市庁舎への車両突入や放火、不審者の侵入等が起きた場合の対応や、火災発生時等における、避難誘導や職員の対応訓練等を実施すべきでは。

A 暴漢者等を想定した訓練や、マニュアルが無いことから、セキュリティに関するマニュアル整備と研修を通じ、警察や消防等関係機関と連携した訓練等の実施を検討する。

Q 施設への防犯カメラの設置や窓口での不当要求等への対応は。

A 防犯カメラ設置はプライバシーへの配慮や設置・維持費等の面

での検討が必要。不当要求事案や過度な喧騒・暴行事案等に対しては、不当要求に対する要綱の運用で対応したい。

Q 職員の法令遵守と内部統制と

A 本年度は不祥事が相次いだ。職員への法令遵守や内部統制の在り方は。

A 改めて管理体制や、組織風土の見直しを実施し、改善に努める。

Q 市民から一部の窓口等での接遇の不備を指摘されたが、挨拶から対応等の接遇面における改善策は。

A 窓口対応は市民サービスの基本である。接遇力の向上に努める。

Q 民間サービスなどを接遇向上に取り入れてみてはどうか。

A 様々な研修等と併せ、コンプライアンス・ガバナンスの強化を図り、信頼される公務員となるようスキル向上と意識改革に努める。



職員の意識改革への取組みは来庁者や市民の安心安全へとつながる

#### 用語解説

※3 コンプライアンス……法令の遵守や倫理観や職員間のルール  
※4 ガバナンス……組織を束ねる際の職員などへのルールや意識の徹底



おあた 太田 昭司

### 読み聞かせ活動の効果は

答 子どもの情操教育、読書・図書館への関心に繋がる

Q 市内の読み聞かせボランティアの活動と効果についてお聞きする。

A 現在、九つのサークル、約九十名の方が読書ボランティアサークル連絡会に参加。各学校・クラブ・保育園等で読み聞かせ活動を行なっている。この活動は子どもたちの情操を育み、物語に関心を持ち図書館にも訪れるきっかけとなり、映像メディアに影響された子どもの生活習慣の改善にも結びついている。

Q 4歳児に対する本の贈呈「セカンドブック」に引き続き、「サードブック」も提言する。

いる中で結果を出されている。流山市の特集映像では、公園に家族連れがあふれかえっていた。そんな目に見える効果を期待できる具体的な対策を打っていただきたい。

A (市長まず政策を毎年しっかりと吟味する努力は何年も続けてきた。箕輪町も流山市もよく知っているが、流山市は柏市のベッドタウンとして栄えてきた。箕輪町も伊那市のベッドタウン。伊那地方には高速道路もあり、企業誘致が進んできた背景もある。一方大町は、昭和の時代に大企業の労働者に支えられてきた歴史がある。その世代の高齢化による人口減少が大きく影響している。それを何とか乗り越えるために一生懸命取り組んでいるが、ここにはベッドタウンがあるわけでもない。

A 就学後の子どもたちに対するサードブックは中信地区では3自治体が行なっている。大町市においては、子ども個々への贈呈ではなく、学級文庫に一定冊数をまとめて配置する形態を検討していきたい。

Q 障がい者・高齢者等に優しい「読書バリアフリー化」の状況は。

A 大町図書館では、視覚障がい者のための点字図書約650点、大活字本約1900点、テープ録音図書約1700点を備えている。

Q 現在策定作業中の新たな「子ども読書活動推進計画」の特徴は。

A みずから考え判断し行動する「生きる力」を身につけることを目指す。また「乳幼児期」「小中学生期」「高校生期」の三段階に分け取り組を進める計画とする。



大町図書館は季節感ある飾り付けで居心地の良い場作りに取り組んでいる



市長みずからがハラスメントを起している

無所属クラブ 大和 幸久

### 市のハラスメント根絶にむけて

答 一部に誤りもあった。意見交換を行う

Q 昨年5月、女団連との懇談会で市長は「その2人は、今まで何回も同じ職場で勤務したり、個人的な関係であれば、長く一緒に働いた関係」と発言した。私の調査では、2人は一度も同じ職場に居たことはない。関係者への謝罪、今後の対応責任の取り方を説明すべきでは。  
A 私の認識の違いや一部に誤りがあった。被害者保護から具体的な答弁は控える。関係者に説明する。  
Q 市長は新聞報道に「とんでもないひどい犯罪を、押し倒して強姦したかのような記事」と発言した。

新聞報道は誤りだという認識か。  
A 当たっている部分、そこでない部分がある。関係者の誤解を解く説明をする。  
Q 新聞記者にも著しい偏見発言をしている。記者に謝罪するか。  
A 必要があればそのようにする。

Q 報道によれば「総務部長が加害男性課長が好きだと言っているから、胸を揉めばよかったなどと発言し、男女の関係なら問題にならなかったという趣旨」と認めている。事実として認識しているのか。  
A 事実と異なるという報告をつけている。疑義は意見交換する。

Q 昨年6月、大町警察署が現場検証や関係職員への聞き取り調査があった。なぜ公表しないのか。  
A 依頼を受け協力しただけ。



市政の信頼回復には、市長以下幹部の猛省が必要だ

#### 用語解説

- ※5 女団連……女性団体連絡協議会
- ※6 DMO……特定の地域の観光開発を推進するための組織
- ※7 百人衆会議……中心市街地の再生に向けた「未来ビジョン」策定に向けた取り組み



成功例の高松市を例に商店街振興を図る

政友クラブ 中村 直人

### 市街地への居住誘導を進めよ

答 有効な施策。再開発に向け関連部署と議論を進める

Q バブル崩壊からV字回復した丸亀商店街では、高齢者に住み良い街づくりで商店街の人口を維持、活性化に繋げている。当市の考えは。  
A 高齢者も歩いて楽しめる街づくりと、商業地・医療や介護へのアクセスが良い市街地形成に努める。

Q 松糸道路建設による移住の代替地として、病院にも近い商店街近隣地域を活用できないか。  
A あくまで地権者の要望次第だが、選択肢の一つとしていく。

Q 以前提案した市内に増えるカフェを応援する事業だが、カレーや



上層にはマンション、下層には店舗・医療施設等。丸亀商店街

酒等のテーマで事業展開するのはどうか。  
A 「おおまびよんカフェ」は芸術祭に向け、特産品の開発に繋がるよう、季節ごとテーマを決めて施策展開していく。

Q 黒部ダムから市街地への観光客誘引は大きな課題だ。そこで活かすべき黒部ダムでの観光アンケートは白馬パレー\*DMOにて、秘密情報扱いとなっている。公開できないか。  
A 内部情報の記載等を整理し、共有情報と出来るよう働きかける。

Q そこでダムの観光客が大町の市街地に望むことを聞けないか。  
A 反映するよう検討する。

Q 大胆な商店街の再開発は、事業者や市民と、未来のビジョンを共有したことが肝だ。行えないか。  
A 百人衆会議等の機会を活かす。

## 常任委員会審査報告

### 主な案件の審査内容を掲載します

## 議員が質した3月定例会

## こんなことが決まりました！

議案第7号  
大町市定住促進住宅設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例制定について

結果 全会一致で可決

### 八坂野平団地の市営住宅、1棟譲渡へ

議案の概要  
売却により12戸から11戸へ。定住促進住宅設置及び管理に関する条例を一部改正

#### 委員会審査

Q 譲渡の進め方はどのようになっていくのか。  
A 建築後8年を経過した住宅で、かつ5年以上居住実績のある入居者が譲渡対象となる。入居者との懇談後、譲渡希望のある場合は不動産鑑定価格を基準に譲渡している。

議案第11号  
大町市太陽光発電設備の設置管理等に関する条例制定について

結果 賛成多数で可決

### 太陽光発電、新たに条例制定

議案の概要  
太陽光発電設備の設置管理等に関する条例が制定された

#### 委員会審査

Q 条例に「地域住民等の責務」を記載した理由は。  
A 本条例は、県内の他市町村と比べても厳しい内容となっている。地域住民との意見交換や自然環境への配慮など、条例に則って適正に進められる事業については、むやみに反対するのではなく、協力していただきたいという趣旨である。

Q 地域住民を対象とした、事業の実施に関する説明会は、市が開催し、説明するべきではないか。  
A 住民から要望があれば、説明会は事業者の責務において開催するものであり、他市の事例でも同様である。



議案第16号  
令和5年度大町市一般会計補正予算(第10号)

結果 全会一致で可決

### 令和10年度、国民スポーツ大会開催

議案の概要  
教育文化振興基金を加え、教育文化振興施策の推進を図る

#### 委員会審査

Q 国民スポーツ大会開催までの施設整備計画は。  
A 「サッカー競技は、サッカー場及び、陸上競技場の建て替えと、競技場の芝の張替えを行う。バレーボールは、総合体育館大アリーナの床の再研磨及び、再塗装を行い、空調設備等については検討中である。スポーツクラブイミングは、旧大町北高跡地を利用する方向で検討を進めている。

Q サッカー競技は、サッカー場及び、陸上競技場の建て替えと、競技場の芝の張替えを行う。バレーボールは、総合体育館大アリーナの床の再研磨及び、再塗装を行い、空調設備等については検討中である。スポーツクラブイミングは、旧大町北高跡地を利用する方向で検討を進めている。



### 3月定例会最終日討論の内容を要約してお伝えします

討論は議案等の採決の前に、なぜ反対なのかなぜ賛成なのか、議員個人の意見を表明し、意見の異なる議員に賛同を求めるために行われます。

**議案第9号** 大町市国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定について

**原案に賛成** 国民皆保険の制度を守るには、国へ財源確保の要望を強く求めるとともに、市として収納対策や医療費の抑制を進めることが必要だ。(山本みゆき)

**原案に反対** 保険税の負担軽減 協会けんぽより1.8倍の負担となっている。国保税は、3億円超の基金を使つての負担軽減が被保険者の願い。(宮田一男)

**議案第11号** 大町市太陽光発電設備の設置管理等に関する条例制定について

**原案に賛成** 住民本位の協定書作成を、事業者丸投げの住民説明で問題が多発している。市が中心になって住民福祉の向上に努めるべきだ。(大和幸久)

**原案に賛成** 違法な事業者と開発を防止する為の条例 住民への理解と説明を義務付け、違法な開発、不適格な事業者の規制に必要な条例である。(西澤和保)

**議案第22号** 令和6年度大町市一般会計予算

**原案に賛成** 芸術祭関連予算に反対 文化芸術での町おこしを考えると、運営を市職員依存から転換し、市民ボランティアが主となる形にすべき。(宮田一男) 市長のハラスメント発言解明を、女団連との懇談会で新聞が「強姦したかのような報道をした」と発言。報道の事実は無く解明が必要。(大和幸久)

**原案に賛成** 第5次総合計画後期基本計画を進めよう 地域資源を最大限活用し、地域活力の向上を目指すことを目標に、重点施策をさらに進めることを期待。(大竹真千子)

**議案第25号** 令和6年度水道事業会計予算

**原案に賛成** 水が生まれるまち・大町 予算は安全な水の供給に不可欠な経費計上だ。今後も安定的に供給できる水道づくりに経営努力せよ。(山本みゆき)

**請願第4号** 刑事訴訟法(再審法)の改正を国に求める意見書提出について

**原案に賛成** 再審法の改正は必要と考えるが、願意については判断しかねる。司法制度全体の在り方に関連することから、国の動き、審議を見守りたい。(大竹真千子)

**原案に賛成** 冤罪のない社会に 旧態依然の再審法を改正し、市民生活を守る。現行憲法の要請であり、地方の声を国に挙げるのは地方議員の権限であり責任。(傳刀健)

**議案第30号** 令和6年度大町市病院事業会計予算

**原案に賛成** 虹の家は病院の責任で運営を、基本方針では病院の併設型として設置された。広域職員の人員費は委託を受け、病院が支払うべきだ。(大和幸久)

**原案に賛成** 経営強化に向けた前向きな予算 コロナ関連の補助金の減少・電気料の高騰の中、努力を続けている。健診事業の拡充等の取組み等に期待。(中村直人)

**陳情第1号** 地域高規格道路「松本糸魚川連絡道路」の早期建設に向けた陳情

**原案に賛成** 課題山積の松糸道路 事業費、工事期間、自然環境や景観など多くの課題を抱え、沿線地域への影響があり、住民への丁寧な説明が必要。(宮田一男) 景観・住環境無視の決定は無効。ルート決定では、生活環境より、保証金が多く取れるルートが優先された。多くの市民は納得せず。(大和幸久)

**原案に賛成** 市民に十分な情報の発信を 命をつなぐ道として、未来の大町市にとって重要な骨格軸になるため要望は妥当である。(小澤悟)

**原案に賛成** 地域経済と大町市の将来像の力ぎを握る 地域経済、緊急医療体制等々、市の将来像と共に、地域経済界も効果と期待を寄せている。(西澤和保)

## 令和6年3月定例会 提出案件の審議結果

議案・陳情の原案に対して「賛成は○」「反対は●」 議長は議事進行のため「賛成」「反対」の意思表示はしない

◇賛否が分かれた案件

議案番号等	案件	議員											結果					
		日共	新野	市川	政友	峻嶺	公明	無	無	無	植松	堀						
		宮田	栗林	大和	高橋	中牧	小澤	山本	大竹	中村	西澤	二條	一本	傳刀	太田	堀	植松	
議案第9号	大町市国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定について	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第11号	大町市太陽光発電設備の設置管理等に関する条例制定について	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第17号	令和5年度大町市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第22号	令和6年度大町市一般会計予算	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第25号	令和6年度大町市水道事業会計予算	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第28号	令和6年度大町市公共下水道事業会計予算	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第30号	令和6年度大町市病院事業会計予算	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議事第2号	刑事訴訟法(再審法)の改正を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
陳情第1号	地域高規格道路「松本糸魚川連絡道路」の早期建設に向けた陳情	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択
陳情第2号	地域高規格道路松本糸魚川連絡道路の早期建設を求める陳情	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択
陳情第3号	北アルプス国際芸術祭2024について、実施前に市民アンケート調査等による検証・見直し・縮小を求める陳情	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	不採択
請願第4号	刑事訴訟法(再審法)の改正を国に求める意見書提出について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択

◇全会一致で可決・同意された案件

議案番号等	案件	結果
報告第1号	専決処分報告について 専第1号 令和5年度大町市一般会計補正予算(第9号)	原案可決
議案第1号	大町市農業委員会委員の任命について	同意
議案第2号	大町市組織条例等の一部を改正する条例制定について	原案可決
議案第3号	大町市監査委員条例等の一部を改正する条例制定について	原案可決
議案第4号	大町市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
議案第5号	大町市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例等の一部を改正する条例制定について	原案可決
議案第6号	大町市基金条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
議案第7号	大町市定住促進住宅設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
議案第8号	大町市印鑑登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
議案第10号	大町市保育所設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
議案第12号	大町市公営簡易水道事業に地方公営企業法の規定の全部を適用することを定める条例制定について	原案可決
議案第13号	大町市公営簡易水道事業に地方公営企業法の規定の全部を適用することに伴う関係条例の整備に関する条例制定について	原案可決
議案第14号	大町市水道給水条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
議案第15号	大町市水道事業及び大町市公営簡易水道事業の布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
議案第16号	令和5年度大町市一般会計補正予算(第10号)	原案可決
議案第18号	令和5年度大町市後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)	原案可決
議案第19号	令和5年度大町市公営簡易水道事業特別会計補正予算(第3号)	原案可決
議案第20号	令和5年度大町市水道事業会計補正予算(第4号)	原案可決
議案第21号	令和5年度大町市公共下水道事業会計補正予算(第2号)	原案可決
議案第23号	令和6年度大町市国民健康保険特別会計予算	原案可決
議案第24号	令和6年度大町市後期高齢者医療特別会計予算	原案可決
議案第26号	令和6年度大町市公営簡易水道事業会計予算	原案可決
議案第27号	令和6年度大町市温泉引湯事業会計予算	原案可決
議案第29号	令和6年度大町市農業集落排水事業会計予算	原案可決
議案第31号	副市長の選任について	原案可決
議事第1号	大町市議会議員の請負の状況の公表に関する条例制定について	原案可決

次ページは、討論の続きと行政視察報告と議員研修会報告



討論沸騰!!

### 3月定例会最終日討論の内容を要約してお伝えします

討論は議案等の採決の前に、なぜ反対のかなぜ賛成なのか、議員個人の意見を表明し、意見の異なる議員に賛同を求めるために行われます。

#### 陳情第3号

北アルプス国際芸術祭2024について、実施前に市民アンケート調査等による検証・見直し・縮小を求める陳情

##### 原案に反対

特色を出しつつ開催を  
コロナ禍でも、経済効果は負担に  
対し約二倍だった。ポランテアを  
増やす等、課題に取り組みながら準備を(中村直人)  
伝統文化に光を与える現代アート  
大町の美しい自然・伝統文化に新たな光を与え大町の古くて新しい姿を世界に発信する芸術祭を熱望する。(太田昭司)

##### 原案に賛成

市民ともに検証・見直し・改善を  
前回の評価と改善が為されていない。市民の理解を得ることが芸術文化を通じての町おこしに繋がる。(栗林陽一)  
芸術祭の見直しを求める  
作品制作費などは北川フラム氏の会社の見積額をそのまま予算計上しチェックもなく問題だ。中止すべきだ。(大和幸久)  
芸術祭密室会計はやめる  
市民に、作品代を含めた全予算を具体的に明確に示さない芸術祭は異常である。(高橋正)

#### 陳情第2号

地域高規格道路  
松本糸魚川連絡道路の  
早期建設を求める陳情

##### 原案に反対

早期着工よりも  
市民との話し合いを  
早期建設に拘るのではなく、予定されている地域の住民と丁寧な話し合いを行うことが重要だ。(栗林陽一)

##### 原案に賛成

広域的な観光の創出、  
活発な交流を生む  
インフラとして  
業界全体が期待  
観光支援策を踏まえた魅力的な活用を強く要望しており、願意は妥当。(大竹真千子)

### 議会運営委員会



岩倉市議会の視察の様子

●日程  
令和6年1月11日～12日  
●内容  
・議会におけるタブレット端末を体験(飯田市議会、塩尻市議会)  
・議会改革先進地を伺う(愛知県右倉市議会)

#### ■タブレット端末を体験

飯田市議会、塩尻市議会では、当市でも導入の検討が進んでいる「タブレット端末」の運用について、導入経過、今後の課題や展開等を伺ってきました。  
両市それぞれにおいて、運用の形は異なっており、大町市では、どのような形が市民益につながるのか、議

会効率の上昇と議員の調査、提案能力の向上を目指し、検討していく必要を感じてきました。飯田市議会では実際に端末機に触れさせていただき、本会議や委員会での端末機の活用について体験させていただきました。ありがとうございました。

#### ■議会改革先進地 岩倉市議会

岩倉市議会では、市民により構成される議会サポーター制度、一般質問を補完する文書質問制度、議会基本条例の検証について、それから当市議会でも行っている委員会代表質問に関する意見交換を行ってまいりました。議会改革の先進地として知られる岩倉市議会を視察できたことで、同じく、より開かれた議会、市民に寄り添った議会を目指している、現在の当市議会の改革の進捗や課題を改めて知る機会となりました。より市民に関心を持っていただく議会とするため、岩倉市議会での取り組みを参考にしていきたいと思えます。

## 行政視察報告

## 行政視察報告

### 総務産業委員会

●日程  
令和6年1月22日～24日  
●内容  
・姫路市の歩きたくなる街づくりについて(兵庫県姫路市)  
・移住定住対策について(愛媛県西条市)  
・丸亀町商店街振興組合の商店街の再生への取り組みについて(香川県高松市)

#### ■姫路駅前商店街

再開発に向けて市内団体などと積極的に協議を進めて市民の納得いく着地点を見つけていく手法にも感銘を受けました。  
しかも、事業は3年をめどとして効果の見込めないイベントなどは廃止するなど、予算もメリハリをつけた内容となっており大いに参考とすべきだと考えます。

#### ■西条市移住定住対策

1 住友財閥系の造船業、港湾関連の仕事、水産業など働き口が大変多い事。  
2 市内での起業を前提とした「起業型地域おこし協力隊」を含め若者のチャレンジを応援する取り組みを「おこし隊」。  
3 1泊2日の無料個別移住体験ツアーの実施。宿泊費、往復交通費、食費すべて無料など。移住してもらうために、水や山や空気、景観などの売り文句は、すでに尽くして感銘は薄いと指摘された。

#### ■丸亀町商店街

素晴らしいの一言。国や県との交渉力、突破力について感銘を受けました。  
理事長より「商店街だから客を呼び込むのだと考えがちだが、この場所に生活者を取り戻すのだ。高齢者社会に向けては年寄りのパラダイスを作るのだ。」という言葉が響きました。

### 議会広報研修会を開く

## 議員研修会報告

●日程  
令和6年1月29日  
●内容  
・「議会広報の基本と編集」  
一般社団法人埼玉県「コミュニケーションセンター」  
理事長 芳野政明先生

#### 【議会広報研修会概要】

「議会広報」を機関としての再確認をする事が大事です。

#### ・誰の為、何の為に議会広報か？

開かれた議会、住民参加のスキルとして「民意の反映と意思決定過程」の可視化と住民の自治体政策に関する判断材料となるように努める。

#### ・住民と議会との関係を築く

議事を公開し、説明責任を課す。住民・読者の関心に応え、住民とのつながり、関係性を強める。

#### ・情報共有から参加・共同へ、住民の自治意識を醸成する「議会だより」にする。

各地域で発行している素晴らしい議会だよりを参考に市民に親しまれる「市議会だよりおまち」にしていきたい。



全国町村議会広報コンクールで審査員を務めている芳野政明先生に議員全員で研修を受ける

次ページは、みんなのひろば



# みんなのひろば

議員が市民のみなさまの声を取材してつくるみんなのひろばです。今回は、能登半島地震の災害支援に行かれたみなさんに、災害への備えについてインタビューしました。

- ① 現地でしたこと
- ② 公助(公的支援)でできること
- ③ 自助(自分や家族で備えること)でできること

北アルプス広域消防本部  
大町消防署  
神田光一さん



- ① 珠洲市に派遣され、救急活動の支援を行いました。往復10時間以上に及び救急搬送もありました。
- ② 被災地の消防力では対応困難な大規模災害に際して、緊急消防援助隊が全国から被災地に駆け付けます。
- ③ 自分自身や周囲の人々を守るため、大田市防災マップを確認して下さい。避難計画の作成、食糧や水等の備蓄品を準備しましょう。



大町市役所職員  
中村太一さん

- ① 羽咋市で災害ごみの集積場所において、車両の受付及び誘導を行いました。
- ② 災害規模にもよりますが「災害ごみ」に関しては、自治体が集積場所(仮置き場)を設置します。今回の能登半島地震でも、石川県内で11市町14か所に設置されています。(令和6年2月6日現在)
- ③ 災害時に家具などが転倒すると、ケガや避難の妨げといった危険に繋がります。転倒防止用品による事前の対策を心掛けましょう。

## 災害支援活動に行かれたみなさん



大町病院職員  
横澤孝彰さん  
DMAT派遣隊  
池田溪子さん

- ① 珠洲市総合病院での支援など。
- ② 避難所での感染対策は重要。それらを想定した防災訓練を日ごろから、医療・介護関係者、他組織、市民で行い、災害に備えていく必要があると思います。
- ③ 一週間ほどは支援も中々届かず、水や、簡易トイレの備蓄は重要。また、地域内での人間関係があるから、いざというときに助け合えるのだなと、避難所を回る中で強く感じました。



大町市役所職員  
春日飛輝さん

- ① 輪島市に派遣され、避難所運営支援(生活補助、夜間受付業務、食料の補充、トラブル改善)を行いました。
- ② 避難所の運営や管理、また避難所機能の充実。十分な避難所スペースの確保。飲料水や食料、生活備品の備蓄。他市町村との応援協定の実施など。
- ③ 携帯の通信状況が悪くなる場合や、車が動かせなくなる場合も想定し、最低でも3~5日は生活できる程度の食料や飲料水等の備蓄。避難所となっている場所の確認など。

### 次回6月定例会予定

- 開会 6月4日(火) 午前10時~
- 一般質問 6月18日(火)~6月20日(木)
- 最終日 6月28日(金) 午前10時~ 討論・採決

### 傍聴にお越しの際は

- 傍聴をご希望の方は議会棟2階の議会事務局で申込書をご記入ください。

インターネットと市ケーブルテレビで放送しています。録画・再放送もご覧いただけます。

大町市議会 議会中継

本会議の生中継

あとかき、  
「さつとうまくいくよ」  
「あなたなら大丈夫」  
「どんな道でも良いんだよ」  
「頑張らなくてもいいから」  
「一緒に頑張ろう」  
「応援しているよ」など  
精神的に疲れている方や、辛い方たちに寄り添った言葉選びを心掛けた。  
「だって人間だもの」  
汚い言葉やなじむ言葉では誰の共感も得られないから。  
(堀堅一)

議会だより編集委員

- 【委員長】 一本木秀章
- 【副委員長】 大和幸久
- 【委員】 植松悠一郎 堀堅一 中村直人 栗林陽一 小澤悟 山本みゆき

